

令和6年度第2回文京区文化財保護審議会 要点記録

*日 時	令和6年10月10日(木) 午後3時00分～午後4時30分
*場 所	心城院(文京区湯島3-32-4)
*次 第	I 開会 II 議題 文京区指定文化財の指定について(諮問・現物視察) III 閉会
*出席者	文化財保護審議会委員(谷川章雄、藤井英二郎、内田青蔵、副島弘道、山崎祐子) 事務局(熱田教育総務課長、川口文化財保護係長、内藤文化財保護係主事、町田文化財調査員)
*傍聴者	0人
*資 料	資料第1号 文京区指定文化財の指定について(諮問) 別紙1 (表1) 心城院版木一覧 別紙2 (資料1) 心城院版木 銘文

I 開会

II 議題

文京区指定文化財の指定について(諮問)

事務局が資料に基づき、指定説明書(案)の説明を行った。

《会 長》本格的な審議は次回以降に行いますが、ただいまのご説明について、差し当たってご質問・ご意見等がありますか。

《委 員》次回検討する内容かもしれませんが、2点申し上げます。

まず、国で版木を指定する場合、通常は「歴史資料」に分類します。

次に、版木を物として数えるときは何枚とすることが多いと思います。ただし、版木は両面を使用することが多いので、それを説明するときには何面と数えることもあります。

《事務局》今回「面」としたのは、文京区では版木を指定した事例がないため、他の事例を参考にしました。

《委 員》一方で国の事例ですと「枚」で数えますので、次回までに他の事例をもう少し検討いただければと思います。

《会 長》それでは今のご指摘については次回検討するというので、引き続いて現物視察を行いたいと思います。

文京区指定文化財の指定について(現物視察)

指定候補の現物視察を行った。

III 閉会